



赤屋小だより



令和2年度
安来市立赤屋小学校
R2. 11. 19第14号
文責 勝部 篤

2学期の重点目標:かんがえ つくいだす子

ホームページ:赤屋小で検索ください

学習発表会大成功

【お知らせ】

本日(11/19)
18:00~
どじょっこテレビで
放映

11月14日(土)は学習発表会でした。

例年、赤屋地区農業文化祭にあわせて行われた学習発表会ですが、今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、農業文化祭は中止、学習発表会は保護者とその家族の方のみ入場制限をしての開催となりました。ご来場いただいた皆様の温かい眼差しと大きな拍手の中、児童は自分らしさを発揮し、のびのびと表現していました。地域の方々にも見ていただきたかったのですが残念です。この紙面で少しでも様子をお伝えできたらと思います。また、赤屋交流センターで視聴できるよう、ご準備いただいておりますのでお知らせします。

1、2年生は劇「あかや にんじゃ学校」でした。忍者学校に入学した1年生忍者「あぐり丸(近藤麻久利さん)」

と共に、2年生の先輩忍者たちが助け合って、修行をしてい



くといったお話でした。体育の表現運動で取り組んだ忍者の動きを取り入れながら、鉄棒や縄跳びの技に挑戦しました。普段の元気に仲良く一生懸命向かっていく姿が劇でも表れ、ほほえましい姿でした。

3、4年生は、劇「こんぎつね 赤屋編」でした。国語で学習した「ごんぎつね」、ふるさと学習で大正屋醤油店、鷹入りの滝、上の台、稚児岩について学んだことをもとに児童が意見を出し合い、担任がシナリオを作りました。児童から「ごんぎつねの終末が悲しすぎる。」「自分たちで考えた終末を入れたい。」と、ごんが兵十に火縄銃で撃たれた後、時間を巻き戻して、最後が



Happy Endで終わるというお話を追加しました。学んだことや伝えたい思

いが詰まっていたので、驚くほど早くセリフを覚え、大きな声で堂々とした演技をしていました。



5、6年生は、劇「世界の幸福のために～自分達に出来ること～」でした。総合的な学習の時間に、世界の子どもの現状とユニセフの活動についてユニセフのスタッフの方とオンライン学習をしました。その学習をもとにシナリオを児童数名で作成、練習が始まると6年生の細田玲志さんが監督を、



BGMや効果音を田部夏帆さんが、といったように自分たちで主体的に作り上げました。最後の学習発表会となった6年生児童11名は、6年間の積み重ねてきた力を遺憾なく発揮し、5年生も協力して自分の役割をしっかりと果たし、堂々と演技をしていました。



児童はこの学習発表会でやり切った経験や自信を今後の学校生活に生かしさらに成長していくことでしょう。



PTAの皆様からは、児童にとって1つでも楽しい思い出を作ろうとサプライズ企画として、思い出の写真やお菓子のプレゼントをご準備していただきました。「鬼滅の刃」の主人公に扮した突然の登場に驚き、そして喜んでいました。ありがとうございました。



最後に、当日の挨拶でもお話させていただきましたが、来年は赤屋小学校創立50周年を迎えます。この節目に合わせ、令和3年秋には様々な50周年記念事業が行われる予定です。これを機に、益々この素晴らしい赤屋地区が盛り上がっていきますことを祈念しております。

学習発表会 川上真穂

私は、学習発表会でたくさん成長しました。1つ目は何があっても最後までやりとげることです。本番はきんちょうして、動作があまりできなかったけれど、練習の時に言われたことを思い出して演技をすることができました。(略)自分にとって課題だなと感じるところがあったので、そこを直してこれからもがんばりたいです。

芸術家派遣事業

11月17日(火)は芸術家派遣事業として、6名の音楽家の方にお越しいただいて、クラシック音楽や校歌の演奏、楽器演奏体験のワークショップ等していただき、音楽の楽しさにふれる有意義な時間を過ごしました。

オーケストラの指揮をする足立和輝さん

